

令和3年度 加西市施政方針・当初予算

令和3年度の施政方針で力点を置いたのは、「持続可能な社会」の実現を目指すこと、「生活満足度の向上」を図ること、の2点です。

本年度は、第6次加西市総合計画がスタートする重要な年です。昨年度は、市民の皆さんのご意見を反映しながら、策定作業を進めてきました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大と重なったため、第6次加西市総合計画は、ポスト・コロナのニューノーマル時代の社会的動きを反映しているものとなりました。

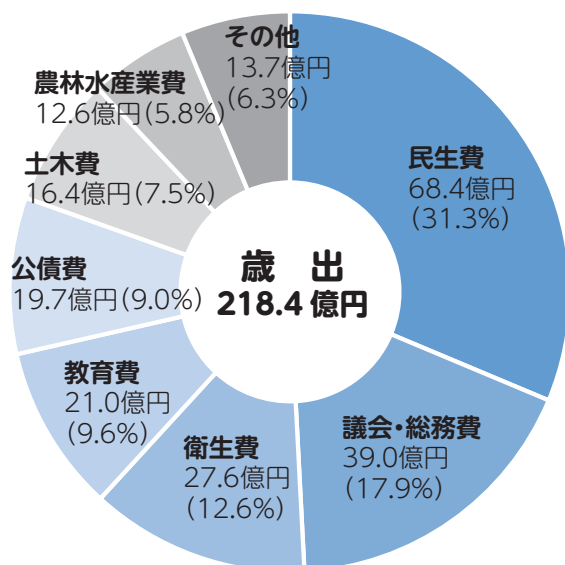
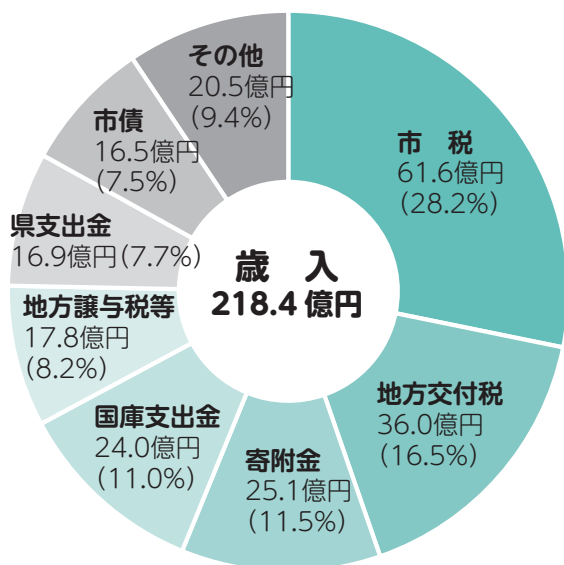
「誰一人取り残さない」。これは国連の提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の理念です。私自身、市長として市政運営を進める上で、「誰一人取り残さない」社会を目指すことこそが必要不可欠と考えます。したがって、まちづくりの指針となる第6次加西市総合計画は、SDGsに対応することといたしました。

ポスト・コロナ時代を見据え、歴史ある都市としてのアイデンティティを確保しながら、最新のICT（情報通信技術）も積極的に活用し、社会や環境の変化に機敏に対応していきたいと考えております。

加西の持つ地域資源は豊かで誇れるものです。多様な資源を十分に活用し、魅力を創出することにより、今後も住みやすく、また住み続けたいまちとして、市民や企業・団体と一緒に、次の世代を担う子供たちへ、ふるさと加西の発展のために挑戦する市政を続ける所存でございます。また「協創」の理念に基づき、市民だけでなく市外の関係する人々とも手を携えながら、まちづくりを進めてまいります。

（令和3年2月26日開会の第289回加西市議会定例会「令和3年度施政方針」より抜粋）

一般会計 218億4,000万円（対前年度2.4%増） ※福祉や教育など基本的な行政運営の経費をまかなう会計



特別会計 116億4,313万円（対前年度5.2%減） ※介護保険の保険料など、特定の収入で事業を行う会計

国民健康保険事業	50億1,700万円
介護保険事業	49億6,100万円
後期高齢者医療事業	7億円

公園墓地整備事業	2,400万円
産業団地整備事業	9億4,113万円

企業会計 122億5,816万円（対前年度3.2%減） ※事業を行うことで得られる収入で経費をまかなう会計

水道事業	20億7,931万円
下水道事業	41億8,171万円

病院事業	59億9,714万円
------	------------

令和3年度 主要事業トピックス

新：新規事業 拡：拡大事業 継：継続事業 タ：タウンミーティングでの要望事項

1 教育・子育て支援体制の拡充

新 屋内型遊戯施設およびテレワークセンターの整備

1億8,000万円

アステアかさいの空き店舗を活用し、子どもを預けながら働くことができる施設を整備する。



新 未来型児童館整備事業 500万円

未来型児童館の整備にあたり基本設計を行う。

新 すくすく赤ちゃん特別給付金 2,500万円

令和3年度中に生まれる赤ちゃんの保護者を対象に、対象児童1人につき10万円を支給する。

拡 高3までの医療費無料化 3,385万円

中学3年生までの医療費無料を高校3年生(18歳になる年度末)まで拡大する。



2 活力とにぎわいのあるまちづくり

継 九七式艦上攻撃機模型製作・地域活性化拠点施設の建設 3億7,090万円

かつて姫路海軍航空隊が飛行練習で使用し、第二次世界大戦末期には同隊で編成された特別攻撃隊「白鷲隊」が特攻機として使用した九七式艦上攻撃機の実物大模型を製作する。現在、建設中の地域活性化拠点施設が完成した後に天井より吊下げ展示し、平和学習および観光まちづくりに活用する。



継 加西インター産業団地の整備事業 9億4,113万円

中国自動車道北側区域のうち、残る1-1・2・4工区について民間事業者との連携により事業の加速化を図る。また、中国自動車道南側区域(3・5工区)について、早期に事業に着手するため必要な調査等に取りかかる。



新 ふるさと創造会議に事務局員の活動経費を交付 200万円

「地域づくり支援員活動交付金」を新たに創設し、ふるさと創造会議の事務局機能の支援および強化を図る。「まちづくり計画書」を策定している4地区を対象に事務局員の活動経費を交付する。

